

渋川高等学校 学校評価一覧表 ② (令和4年度版)

(様式2)

羅 針 盤						改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A	学習指導を充実させ、感染防止対策を徹底しながら学校行事を計画通り実施することができ、90%近くの生徒が好きだと感じている。	生徒・保護者ともに学校生活に満足している割合が高い。	行事の精選を含めて、生徒が積極的に学校生活に取り組めるようじゅうぶん検討を加えて年間計画を立てる。	
		②55分6限の授業に満足している生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	55分授業を導入から丸3年となり、職員・生徒ともに定着した。ICT活用を含めた授業改善も進めている。	生徒・保護者ともに満足度が高く、授業形態は、継続したい。	55分授業の内容を一層充実させる。そのために職員研修を効果的に実施する。	
		③授業日を確保しながら学校の活性化を図っていることを肯定的に受け止めている生徒・保護者が80%以上である。	A	A	A	学校行事を例年に近い形で実施することができた。生徒の主体性を活かして成果をあげることができた。	多くの生徒が学校生活に積極的に取り組んでおり、文武両道を目指す学校として評価できる。	授業時間の確保を前提に、行事の精選も考慮しながら学校が活性化するようバランス良く行事の計画を立てていく。	
		④類型選択や科目選択に満足している生徒が80%以上である。	A	A	A	類型、科目選択の説明を丁寧に行った。面談等を通じて生徒の個性や希望を把握するなど、個別指導も積極的に行った。	80%以上の生徒が満足できている。	キャリア教育と入試情報の提供や調査学習を充実させる。学年、進路指導部と連携して計画的に進める。令和5年度の教育課程については、問題点等の検討を継続する。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤少人数・習熟度別授業を肯定的に受け止めている生徒が80%以上である。	A	A	A	数値目標は達成できたが、個別の意見も参考にして改善を図っていききたい。	習熟度学習に満足している割合が全ての学年で90%を超えている。	担当の間で進度や難易度等の調整を行い、生徒のニーズに応えられる授業を行う。	
		⑥授業や学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	B	B	B	2、3年生では目標数値を達成できたが、1年生では少し届かなかった。低学年からの学習指導の見直しが必要である。	上級の学年につれ、達成度の値が良くなっている。時間をかけて、生徒に粘り強く向き合っている姿勢が評価されたと考え、継続的に努力したい。	入学当初から、学習の意義を訴え生徒の意欲を喚起する必要がある。学力格差なども考慮し、教員間の情報共有を密にし、授業改善を図っていききたい。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦家庭学習時間の平均が1、2年生は2時間以上、3年生は4時間以上である。	A	A	A	目標数値を3学年とも達成することができた。1、2年生での学習時間をさらに増やし、基礎力向上に努めたい。	学習時間だけに満足することなく、全生徒の学力向上となるように工夫をしたい。	適切な課題の量を各教科で調整し、家庭学習の増加を促したい。また、学習室の有効利用も呼びかけていく必要がある。	
		⑧全国模試における平均偏差値(型別・科目別)が50以上である。	B	B	B	1、2年生では50を越えている模試もあるが、3年生の共通テストでは文系、理系とも全国平均に及ばなかった。低学年から共通テスト対策を少し筒行っていく必要がある。	全体がレベルアップしていくようにそれぞれのレベルに適切な指導をしていきたい。	共通テストの成績が入試結果にも大きく影響するため、低学年からの情報収集、対策への取り組みが必要となってくる。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨生徒の動向に関する学年会議や分掌会議を週1回以上行い、情報の共有を図る。	A	A	A	各会議を週1回実施し、生徒について情報共有を確実に行った。	情報共有シートを活用しており、今後も継続したい。	各生徒についてきめ細かい情報を効率よく共有するため、情報共有シートを活用していきたい。	
		⑩学級担任による個人面談を年に3回以上実施する。	A	A	A	各担任が積極的に面談の機会を設定し、生徒の状況や考えについて詳しく把握した。	学校として設定した面談期間のみならず、時宜に応じて面談できている。	設定された面談期間のほか生徒の状況に応じて臨時の面談を行い、さらに詳細に状況把握に努める。	
	5 生徒はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑪学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考える生徒(子供が積極的に参加していると考えている保護者)が80%以上である。	A	A	A	生徒・保護者とも80%以上がしっかり伝えていると回答した。いじめ防止強化月間を年2回実施しているが、定期的アンケートや日常的な状況観察により早期発見に努めている。	生徒・保護者とも80%を超えた回答を得られた。今後もこの状況を維持していきたい。	生徒・保護者・職員が一丸となっていじめを許さない雰囲気形成するとともに、小さなトラブルに早期に気付く態勢を整えていじめの未然防止に努める。	
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫学校行事や部活動に積極的に参加していると考えている生徒(子供が積極的に参加していると考えている保護者)が80%以上である。	A	A	A	生徒の約90%、保護者の90%以上が積極的に活動していると回答した。感染防止策に細心の注意を払いながら各行事を実施することができた。	全ての学年で80%を超えることができている。	社会情勢に合わせた感染症対策を検討しつつ、積極的に部活動や学校行事を行い、学校のさらなる活力向上を目指していきたい。
			⑬1日の平均遅刻者数は、全校生徒の1%以下である。	A	B	B	1日の遅刻者数が在籍比1.2%となってしまった。生徒の健康管理などについて指導を続けていきたい。	家庭の協力を得ながら努力していくことが必要である。	生徒のより良い生活習慣の確立と、魅力ある学校生活の実現を目指して努力していく。
			⑭交通事故の発生率が全校生徒の1%以下である。	B	B	B	交通事故発生率が2.4%となってしまった。大きな事故は起きていないが予防策に取り組む。	ヘルメット着用を呼びかけるなど、努力している。	交通安全通信やヘルメット着用指導を通じて安全意識の高揚を実現する。
⑮安心して学校生活を送っていると考えている生徒・保護者が90%以上である。	A	A	A	生徒・保護者とも約95%が安心して学校生活を送っていると回答した。	全ての学年で90%を超えることができている。	現在の指導方針を維持し、さらに安心して生活できるよう環境を整えるよう努める。			

IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑯進路に関わる資料・教材を有効に活用している生徒・保護者が80%以上である。	B	B	B	1,2年生で70%未満、3年生で約80%という結果であった。低学年のうちから進路情報の意義や活用法などを丁寧に説明する必要がある。	コロナ禍の中、オープンキャンパスがオンラインになるなどの変化に対応をし、情報が生徒に伝わるように努める。	学年が上がるにつれ活用できる生徒が増えてくるので、配布物の精選や、利用法の詳しく説明を行い数値を上げていきたい。
		⑰3年間の進路指導計画に基づき、有効に補習や学習室等を活用できている生徒が80%以上である。	C	C	C	各学年とも80%に届かなかったが、土曜補習の出席率は高く90%を超えている。学習室利用は1年生が増えてきているので来年に期待が持てる。	学習室を利用している生徒の意識が高く、施設時刻の見直しをして、利用時間を拡大するなど、良い傾向にある。	低学年での学習室利用者が増えてきているので、来年度も継続し、さらには新入生に利用を促していきたい。土曜補習の回数は実情に応じて変えていく必要がある。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑱3年間を見通したキャリア教育プログラムへの肯定的な参加が80%以上である。	A	A	A	各学年とも目標数値を達成できた。3年生90%を超えた。キャリア教育の意義を実感している生徒が多いと思われる。	学校全体で目的を持って取り組んでいる成果が現れている。より充実した教育プログラムになるようにしたい。	学年が上がるにつれ、数値が上昇しており、キャリア教育が進路選択に良い影響を与えていることが推測できる。今後の行事の精選を含め、充実した内容のプログラムを実践していきたい。
		⑲進路実現に向けて取り組んでいる生徒が95%以上である。	B	B	B	3年生は97%であったが、1,2年生は80%を少し超える数値であった。低学年から進路意識を高め、早期に目標を設定させて努力させるように持って行きたい。	目標を持つ大切さ、目標を生徒自身で決めていく大切さを学校全体で考えていきたい。	入学当初より学習する意義を話して、早期から目標を定めて学習に取り組めるよう、進路行事の適切な計画と実施を心掛けていきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳Webページを月1回以上更新する。	A	A	A	最新情報の掲載や長期間更新されていないデータの更新を進めることができた。	Web更新については、課題が残った。レイアウトについても見直しをしていきたい。	新しい情報の掲載やデータの更新に、きめ細かく作業できるよう分担やスケジュールを作成する。
		㉑学年保護者会等に積極的に参加している保護者が60%以上である。	B	B	B	目標数値は達成できていないが、今年は3学年とも対面での講演会を実施できたことは良かった。	コロナ禍でも、学年保護者会の出席率を高められるようにしていきたい。	講演会の内容を講師と事前に打ち合わせしながら、より保護者のニーズに合った講演会となるように努め、参加率を上げていきたい。
		㉒可能な範囲で公開授業を実施する。	C	C	C	コロナの影響で今年度も実施できなかった。状況を見ながら再開できるよう努力していきたい。	中学生に授業の様子が分かるような方法について、継続して模索したい。	状況を見て来年度は、感染防止に配慮しながら短時間でも授業参観をできる再開できるようにしていきたい。
VI 教育のデジタル化に努めていますか	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉓学習支援ソフトウェアを週1回以上利用している。	A	A	A	週1回以上利用している生徒は、初めて90%を超えた。自主的な学習を進められるよう、さらに定着するよう工夫していく。	全学年の生徒が30%に届かない状況である。授業以外にも、生徒が教科書・問題集・参考書を用いて学習していることが予想される。	1人1台パソコンを積極的に活用し、学習活動に活かせるよう、定期的に担任や教科担当が指導、支援をしていく。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉔ICTを活用した通知やアンケートに、生徒・保護者の70%以上が満足している。	A	A	A	各学年、学校全体としての通知・連絡等をきめ細やかにを行った。80%以上が満足であると回答している。	欠席連絡フォームを導入したことにより、円滑な情報共有ができています。一斉メールでの連絡も適切に行うことができていると思われる。	保護者にも職員にも便利になるよう、有効な活用法を導入して、情報発信、連絡、アンケート等の活用を進めていく。